

MELSEC-Q シリーズ対応

WinCPU ユニット PPC-100 シリーズ



本製品は、三菱 汎用シーケンサ MELSEC-Q シリーズへの組み込みが可能な Windows OS が動作するコントローラです。

本製品は、シーケンサ CPU とのマルチ CPU 構成により制御・情報処理のシームレスな処理が可能です。さらに、内蔵 SSD または CF カードスロット(Type I)の CF カードからのブートも可能です。

また、LAN を 2 ポート搭載していますので、Web、インターネット/イントラネットを活用したシステム構築が可能となります。

CPU やチップセットに Embedded タイプを採用。安定供給が可能なパーツの使用により、安心してご使用いただけます。さらに、自社カスタマイズ BIOS を採用し、BIOS レベルでのサポートが可能です。

型式	CPU/メモリ	記憶装置	インストールOS
PPC-100-DC5511	Intel Atom N450 1.66GHz / 1GB DDR2 SDRAM	4GB SSD (本体搭載)	Windows Embedded Standard 2009日本語
PPC-100-DC5311		4GB CFカード (本体実装済)	

製品の仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

- シーケンス制御を行う MELSEC-Q シリーズシーケンサ CPU ユニットと、情報処理を行う本 WinCPU ユニットとの連携により、情報と制御データのシームレスな処理が可能。
- MELSEC-Q シリーズシーケンサ 2 スロットサイズに Windows OS 動作機能を内蔵し、小型化を実現。
- 低消費電力プラットフォームの Intel® Atom(TM)プロセッサ N450 を採用、十分なパフォーマンスを確保しながら低消費電力を実現。
- 1000BASE-T LAN、USB2.0、CF カードスロットなどの多彩なインタフェースを標準搭載。
- 自社カスタマイズ BIOS(Phoenix-Award 社製)を採用し、BIOS レベルのサポートが可能。
- 外部記憶装置には CF カードが搭載可能。振動・衝撃の加わる場所で使用される場合や、長時間の連続運転を行う場合に最適。
- 内蔵 SSD への 2 重のライトプロテクト機能 (OS の EWF 機能、DIP スイッチによる書き込み制限機能) で、より確実なデータの保護を実現。

対応 OS

- Windows® Embedded Standard 2009

オプション品一覧

■CF カード

- CF-1GB-B コンパクトフラッシュ 1GB(FIX DISK 仕様)
- CF-2GB-B コンパクトフラッシュ 2GB(FIX DISK 仕様)
- CF-4GB-B コンパクトフラッシュ 4GB(FIX DISK 仕様)
- CF-8GB-B コンパクトフラッシュ 8GB(FIX DISK 仕様)

■TFT カラー液晶ディスプレイ

<アナログ RGB 仕様>

- FPD-H21XT-AC (15 インチ 1024×768 ドット、パネルマウント用)
- FPD-L21ST-AC (12.1 インチ 800×600 ドット、パネルマウント用)
- FPD-M21VT-AC (10.4 インチ 640×480 ドット、パネルマウント用)

■アナログ RGB ディスプレイ用タッチパネルケーブル

- IPC-CBL3-2 タッチパネル、COM ケーブル(2m)
- IPC-CBL3-5

本製品と従来製品 (PPC-CPU852 (MS)-512) の主な違い

	PPC-CPU852(MS)-512 (従来製品)	PPC-100 (本製品)
CPU	超低電圧版インテル Celeron M プロセッサ-600MHz (FSB 400MHz)	インテル Atom™ プロセッサ-N450 1.66GHz
チップセット	インテル 852GM	インテル ICH8M
メインメモリ	512MB	1GB
PC カード	CardBus 対応 Type I、II × 1	-
CF カードスロット	CF Card Type I、II × 1 (ブート可能)	CF Card Type I × 1
USB	USB2.0 × 3	USB2.0 × 5
対応 OS	Windows XP Professional Windows XP Embedded Windows 2000 Professional	Windows Embedded Standard 2009

機能仕様

項目		内容
CPU		Intel® Atom™ Processor N450 1.66GHz
チップセット		Intel® ICH8M
メモリ	L1 Cache	命令 32KB+データ 24KB
	L2 Cache	512KB
	メインメモリ	1GB (3.3V 200 ピン DDR2 SO-DIMM DDR667Socket ×1)
Video	Controller	N450 内蔵
	Video RAM	メインメモリと共用
	CRT I/F	アナログ RGB 15 ピン HD-SUB コネクタ
	表示解像度	1,400×1,050@60Hz (1,677 万色)
シリアル I/F		RS-232C 準拠: 1ch(9 ピン D-SUB コネクタ) 転送速度: 50 - 115200bps
LAN	I/F	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T RJ-45 コネクタ ×2
	Controller	Intel 82574L
CF カードスロット		CF CARD Type I (IDE 接続のメモ리카ード専用) *1 表示 : アクセス LED (緑) ×1 *2、 -5311、-5311A モデルは CF カード 4GB を搭載
内蔵 SSD*3		内蔵フラッシュドライブ 4GB
USB I/F		USB2.0 準拠 5ch (本体前面 3ch、底面 2ch) 転送速度: 480Mbps 供給電源 : +5V 各 ch 0.5A max. *4
ウォッチドッグタイマ		2ch タイムアップ時間: システム WDT 20msec・2sec、 ユーザ WDT 10msec・10sec
汎用入出力 *5、*6		端子台[1、2] シャットダウン用入力(電流駆動入力) 端子台[3] シャットダウン完了出力(オープンコレクタ出力) 端子台[4] ウォッチドッグタイマ作動出力 (オープンコレクタ出力)
RTC/CMOS		リチウム電池バックアップ期間: 10 年以上(無通電時、25℃) リアルタイムクロックの精度: 月差±3 分(25℃)以内
表示部		RDY(緑)、B.RUN(緑)、ERR. (赤)、USER(赤)、BAT.(橙)、EXIT(緑)、 CF/SSD (緑)
操作部		リセット PUSH スイッチ、DIP スイッチ 4 極、 DIP スイッチ 6 極、3 ポジショントグルスイッチ
サポート OS		Windows® Embedded Standard 2009
ベースユニット使用 スロット数		2 スロット
外形寸法(mm)		55.2(W)×115.0(D)×98.0(H) (突起などを除く)
5VDC 内部消費電流		3.0A (Max.) *7
許容瞬停時間		電源ユニットによる
質量		450g
規格		VCCI クラス A、FCC クラス A、 CE マーキング(EMC 指令クラス A)、UKCA、UL、C-UL

*1: 通電中のカード挿抜はできません。また、メモ리카ード以外の使用はできません。
*2: アクセスLEDはCFカード、内蔵SSDのドライブアクセス中の表示を兼ねます。
*3: 内蔵SSDはOS格納用として使用します。また、SSDには書換え回数に制限(100万回)があります。
*4: 電流容量はコネクタから供給可能な最大容量。
ただし、実際に供給可能な電源容量はシステム全体の消費電流が電源ユニット容量を超えない範囲となるため、0.5A以下になる場合があります。
*5: 汎用入出力はUL評価を受けたものではありません。
*6: ノイズの多い環境でご利用になる場合は、以下に示すノイズフィルタのご使用を推奨します。

名称	型式	メーカー
汎用入出力部ノイズフィルタ	NAC-06-472	COSEL 社製

*7: 周辺機器(CF、USB 機器)などの消費電流は含みません。

設置環境条件

条件項目	条件内容				
使用周囲温度	0・55℃				
保存周囲温度	-25・75℃				
使用周囲湿度	5・95%RH(ただし、結露しないこと)				
保存周囲湿度	5・95%RH(ただし、結露しないこと)				
耐振動	JIS B 3502 IEC61131-2 に準拠	断続的な振動がある場合			X,Y,Z 各方向 10 回 (80 分)
		周波数	加速度	振幅	
		5≦f<8.4Hz	—	3.5mm	
		8.4≦f<150Hz	9.8m/s ²	—	
		連続的な振動がある場合			—
		周波数	加速度	振幅	
5≦f<8.4Hz	—	1.75mm			
		8.4≦f<150Hz	4.9m/s ²	—	
耐衝撃	JIS B 3502、IEC61131-2 に準拠(147m/s ² 、3 方向各 3 回)				
使用雰囲気	腐食性ガスのないこと				
使用標高	2000m 以下 *3				
設置場所	制御室内				
オーバボルテージカテゴリー *1	Ⅱ 以下				
汚染度 *2	2 以下				

*1: その機器が公衆配線網から構内の機械装置に至るまでのどここの配電部に接続されていることを想定しているかを示します。カテゴリⅡは、固定設備から給電される機器などに適用されます。定格 300V までの機器の耐サージ電圧は 2500V です。
*2: その機器が使用される環境における導電性物質の発生度合いを示す指標です。汚染度 2 は、非導電性の汚染しか発生しない。ただし、偶発的な凝結により、一時的な導通が起こりうる環境です。
*3: 標高 0m 付近で発生しうる大気圧以上に加圧した環境下では故障する可能性があり、使用できません。

▼注意

市販の周辺機器(CF、USB 機器)を装着した場合、その機器の仕様と本機仕様のどちらか低い方の設置環境条件にしたがいます。

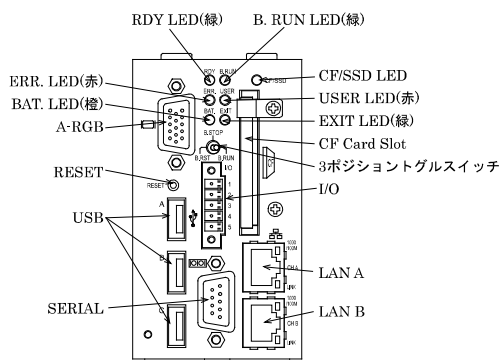
商品構成

名称	PPC-100-DC5511 PPC-100-DC551A	PPC-100-DC5311 PPC-100-DC531A
	数量	数量
本体	1	1
CF カード	0	1 *2
CF カード固定金具および固定ネジ	1set	1set *2
コネクタカバー-RGB	1	1
コネクタカバー-SERIAL	1	1
コネクタカバー-LAN	2	2
コネクタカバー-USB	5	5
端子台コネクタ	1	1
ユーザ登録カード&保証書	1	1
ユーザ登録カード返信用封筒	1	1
Q&A 用紙	1	1
商品案内	1	1
ご使用上の注意(1)/(2)	2	2
使用権許諾契約書(OS)	1	1
使用権許諾契約書(リカバリソフト)	1	1
使用権許諾契約書(PPC-DRV-03)	1	1
セットアップ手順書	1	1
Windows®EmbeddedStandard 注意事項	1	1
リカバリメディア*1	1	1
PPC-DRV-03	1	1
結束バンド	2	2

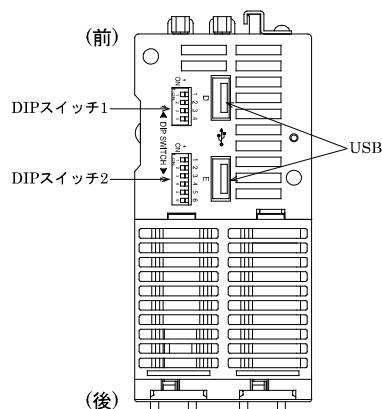
*1 「WinCPUユニット ユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・機能解説編)」および「WinCPUユニット用 Q&Aインタフェースドライブ ユーザーズマニュアル(ユーティリティ操作・プログラミング編)」は、リカバリメディアに格納されていますが、最新情報はホームページでご確認ください。
ユーザーズマニュアルを読むためにはAdobe Readerが必要です。[ファイル格納先 : ¥Manual]
*2: 本体に取付け済みです。

各部の名称

■ 正面



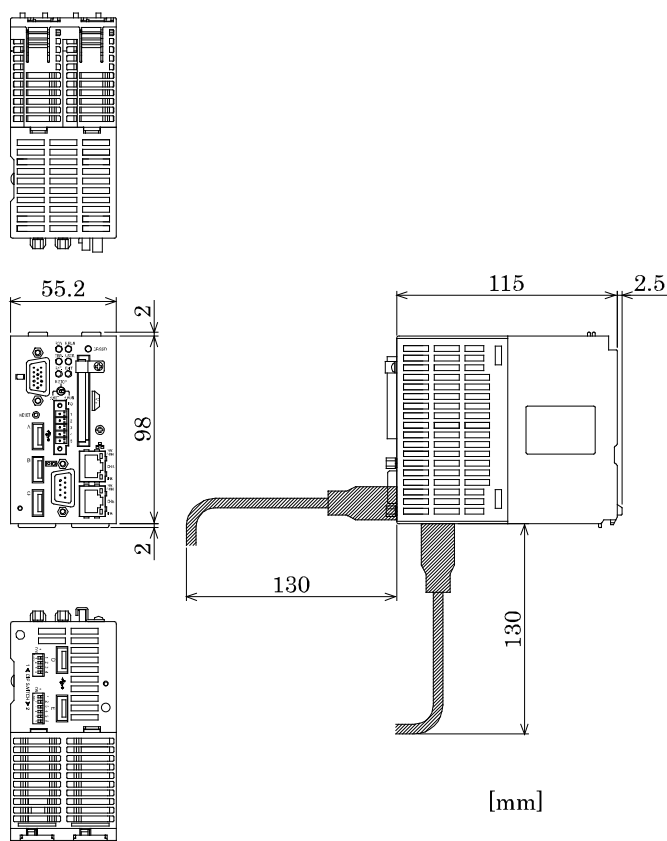
■ 底面



■ 各部の機能

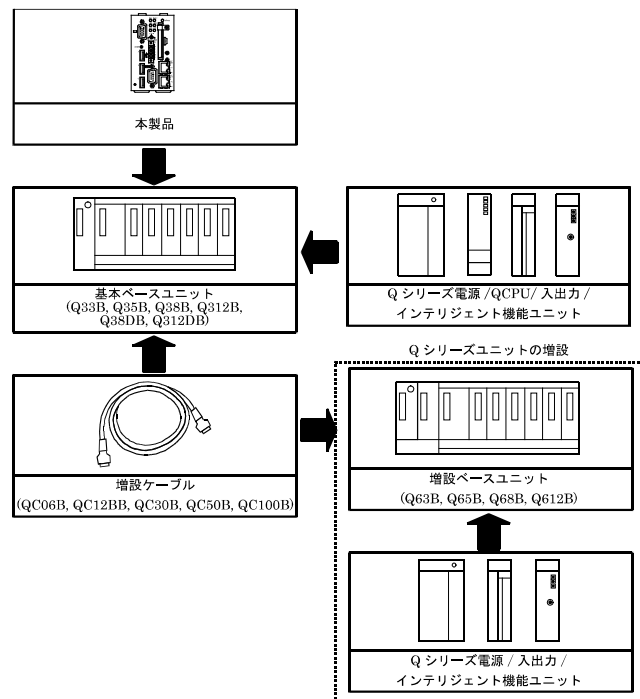
名称	機能
CF-CARD	CF カードスロット (IDE 接続のメモ리카ード専用)
LAN A	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T RJ-45 コネクタ
LAN B	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T RJ-45 コネクタ
RDY LED	ハードウェアレディ表示
B.RUN LED	バスインタフェースドライバ実行表示
ERR. LED	システムエラー表示
USER LED	ユーザエラー表示
BAT. LED	バッテリーアラーム表示
EXIT LED	シャットダウン(電源断)・ハードウェアリセット表示
I/O	シャットダウン入出力端子、WDT 出力端子
SERIAL	シリアルポートコネクタ (9 ピン D-SUB・オス)
A-RGB	CRT コネクタ (15 ピン HD-SUB・メス)
USB	USB ポートコネクタ×5
RESET	ハードリセット押しボタン
3 ポジショントグルスイッチ	バスインタフェースドライバコントロールスイッチ
DIP スイッチ 1	CMOS クリア、ROM クリア、SSD Enable スイッチ、SSD ライトプロテクト設定
DIP スイッチ 2	リセット方式選択
CF/SSD LED	SSD or CF-CARD アクセス表示

外形寸法



システム構成

■本製品と MELSEC-Q シリーズを組み合わせた機器構成



■対応ユニット一覧

分 類	形 名
ベースユニット	Q33B, Q35B, Q38B, Q312B, Q38DB, Q312DB, Q63B, Q65B, Q68B, Q612B
電源ユニット*5	Q61P, Q63P, Q64PN, Q61P-D
AC 入力ユニット	Q シリーズのユニットが使用可能です。
DC 入力ユニット	詳細については、各ユニットのマニュアルを参照してください。
DC/AC 入力ユニット	
高速入力ユニット	QX40H, QX70H, QX80H, QX90H
接点出力ユニット	
トライアック出力ユニット	Q シリーズのユニットが使用可能です。
トランジスタ出力ユニット	詳細については、各ユニットのマニュアルを参照してください。
DC 入力トランジスタ出力 混合ユニット	
アナログ/ デジタル変換ユニット	Q64AD *1, Q68ADV *1, Q68ADI *1
デジタル/ アナログ変換ユニット	Q62DAN, Q64DAN, Q68DAVN, Q68DAIN
アナログ入出力ユニット	Q64AD2DA
ロードセル入力ユニット	Q61LD
高速カウンタユニット	QD62, QD62D, QD62E, QD63P6, QD64D2
位置決めユニット *4	QD75P1 *1, QD75P2 *1, QD75P4 *1, QD75D1 *1, QD75D2 *1, QD75D4 *1, QD70P4 *1, QD70P8 *1, QD75M1, QD75M2, QD75M4, QD75MH1, QD75MH2, QD75MH4, QD75MH8, QD75MH16, QD72P3C3, QD70D4, QD70D8
温度調節ユニット *1	Q64TCRT, Q64TCRT, Q64TCRTBW, Q64TCRTBW
温度-デジタル変換 ユニット	Q64TD *1, Q64TDV-GH, Q64RD-G, Q68RD3-G, Q68TD-G-H01, Q68TD-G-H02
温度入力ユニット	Q64RD *1
チャンネル間絶縁パルス 入力ユニット	QD60P8-G
チャンネル間絶縁 アナログ-デジタル変換 ユニット	Q68AD-G, Q64AD-GH, Q62AD-DGH
チャンネル間絶縁 デジタル-アナログ 変換ユニット	Q66DA-G, Q62DA-FG
チャンネル間絶縁 ディストリビュータ	Q66AD-DG
ループコントロール ユニット	Q62HLC
割込みユニット	QI60, QX40H*2, QX70H*2, QX80H*2, QX90H*2
MELSECNET/H ユニット *3*4	QJ71LP21-25, QJ71LP21S-25, QJ71LP21G, QJ71BR11 *1
CC-Link ユニットの *4	QJ61BT11N
CC-Link/LT ユニットの	QJ61CL12 *1
FL-net(OPCN-2)ユニット *4	QJ71FL71*1, QJ71FL71-F01*1, QJ71FL71-T, QJ71FL71-B5, QJ71FL71-B2 *1, QJ71FL71-T-F01, QJ71FL71-B5-F01, QJ71FL71-B2-F01 *1
AS-i マスタユニット *1	QJ71AS92
ID インタフェイスユニット	QD35ID1, QD35ID2
シリアルコミュニ ケーションユニット *4	QJ71C24N, QJ71C24N-R2, QJ71C24N-R4

*1: 機能バージョン B 以降の製品を使用してください。

*2: 機能切替えスイッチ(SW2) を OFF して割込みユニットに切り替えた場合です。

*3: 下記の MELSECNET/H ユニットの使用できません。

分 類	形 名
MELSECNET/H リモート I/O 局	QJ72LP25-25, QJ72LP25G, QJ72BR15
MELSECNET/H (ツイストバスタイプ)	QJ71NT11B

*4: 一部機能に制約があるため、“入出力ユニット、インテリジェント機能ユニット使用時の注意事項”を参照ください。

*5: システム構成時の総消費電流は、電源ユニットの 5VDC 定格出力電流を超えないようにしてください。

▼注意

システム構成時の総消費電流が 5VDC 定格出力電流を超えた状態で使用すると、WinCPU の動作中にシステムのリセットが発生し、ファイルが破損する場合があります。

MELSEC-Q シリーズとの連携

◆概要

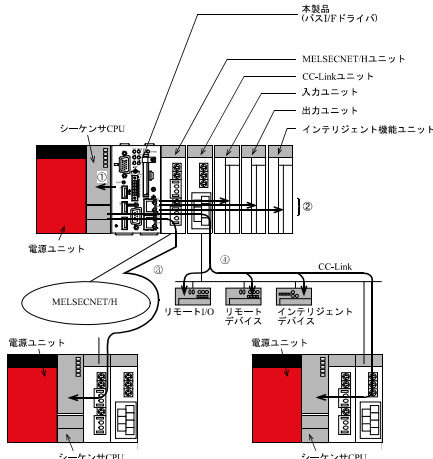
本製品は、MELSEC-Q シリーズバスユニットを使用したバス接続を行うことにより、シーケンサ CPU ユニット、インテリジェント機能ユニット、I/O ユニットと、高速な通信を行うことができます。

制約事項について詳細は、使用する QCPU のマニュアルを参照してください。

なお、シーケンサ CPU など MELSEC-Q シリーズの各種ユニットとの通信は、バスインタフェースドライバにより行います。

MELSEC-Q シリーズの各種ユニットおよびバスインタフェースドライバの詳細については、各マニュアルをご参照ください。

◆アクセス形態



アクセス形態としては以下の形態があります。

- ① 自システム内の他のシーケンサ CPU にアクセス
- ② 自システム内の I/O ユニット、インテリジェント機能ユニットにアクセス
- ③ MELSECNET/H ユニット経由でシーケンサ CPU にアクセス
- ④ CC-Link ユニット経由でリモート I/O、リモートデバイス、インテリジェントデバイス、シーケンサ CPU にアクセス

◆マルチ CPU 構成

■本製品を含めたマルチ CPU 構成

本製品は、本製品のみ「シングルCPU構成」と、他CPUを組み合わせた「マルチCPU構成」をサポートしています。

なお、本製品の最大装着台数は1台です。

■CPU の組み合わせ

・基本ベースユニット(O3□B)使用時

1号機 CPUユニット		2号機以降の CPUユニットの装着可能数							最大拡張数 (この機種を含む)
ハイパフォーマンスモデル CPU	ユニバーサルモデル CPU	モーションCPU			W/CPU プロセッサ	最大拡張数 (この機種を含む)			
		Q00UCPU Q01UCPU Q02UCPU	Q03UDCPU Q04UDHCPU Q05UDHCPU Q10UDHCPU Q13UDHCPU Q20UDHCPU Q28UDHCPU Q30UDHCPU Q31UDHCPU Q32UDHCPU Q35UDHCPU Q36UDHCPU Q37UDHCPU Q38UDHCPU Q39UDHCPU Q40UDHCPU	Q172CPUN Q173CPUN Q172CPUN-T Q173CPUN-T Q172HCPU Q173HCPU Q172HCPU-T Q173HCPU-T					
ベーシックモデル CPU	—	—	—	—	1	—	1	3	
ハイパフォーマンスモデル CPU/プロセッサ	3	—	—	3	3	—	—	1	4
ハイパフォーマンスモデル CPU	Q00UCPU Q01UCPU Q02UCPU	—	—	—	—	1	—	1	3
	Q03UDCPU Q04UDHCPU Q05UDHCPU Q10UDHCPU Q13UDHCPU Q20UDHCPU Q28UDHCPU Q30UDHCPU Q31UDHCPU Q32UDHCPU Q35UDHCPU Q36UDHCPU Q37UDHCPU Q38UDHCPU Q39UDHCPU Q40UDHCPU	3	—	3	3	—	—	1	4

— 組み合わせ不可能									
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Q100UDEHCPU
一：組み合わせ不可能

・マルチ CPU 間高速基本ベースユニット(Q3□DB)使用時

[illegible]

一：組み合わせ不可能

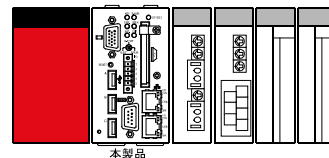
▼注意

- 1) マルチ CPU 構成の場合、本製品は 1 号機にはなりません。本製品のみのシングル CPU 構成は可能ですが、マルチ CPU 構成で構築する際には、シーケンサ CPU が必要になります。
- 2) マルチ CPU 構成の場合、本製品は CPU の中で一番右に装着してください。
- 3) シーケンサ CPU+モーション CPU の最大装着台数は、3 台までとなっていますが、電源ユニット「Q61P」の場合、その電源容量により、装着台数に制限があります。

■ CPU 構成図

- ・本製品のためのシングル CPU 構成

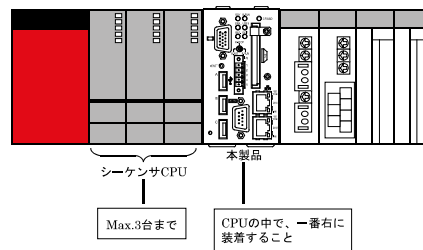
1 号機 …本製品



- ・シーケンサ CPU と組み合わせたマルチ CPU 構成

1-3 号機 …シーケンサ CPU

4 号機 ……本製品

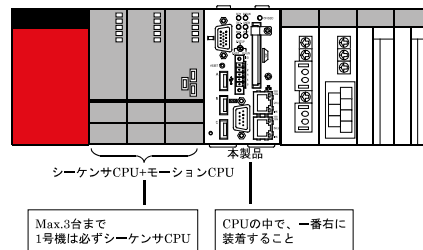


- ・シーケンサ CPU、モーション CPU と組み合わせたマルチ CPU 構成

1 号機 …シーケンサ CPU

2-3号機 …モーション CPU

4号機 …本製品



▼注意

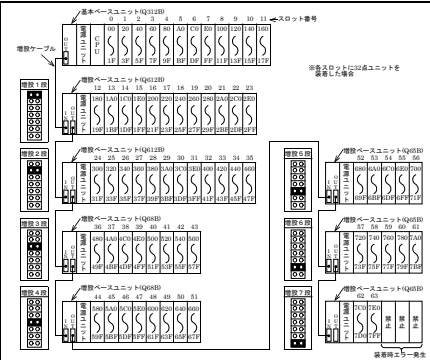
Q シリーズ電源ユニット(Q61P)の場合、その電源容量により、シーケンサ CPU+モーション CPU の装着台数に制限があります。
また、多数の入出力ユニットやインテリジェント機能ユニットをご使用になる場合も、同様の制限があります。

◆注意事項

■最大装着台数、最大入出力点数

- ・シングル CPU 構成の場合

以下にシングル CPU 構成時の最大装着台数、最大入出力点数を示します。

システム増設例		
	最大増設段数	増設 7 段
	最大入出力ユニット装着数	64 ユニット
	最大入出力点数	4,096 点
	最大 MELSECNET/H ユニット装着数	4 ユニット
	最大 CC-Link ユニット装着数	8 ユニット
	最大割込みユニット装着数	1 ユニット
注意事項	最大その他のインテリジェント機能ユニット装着数	64 ユニット
	(1)増設ベースユニットは 7 段まで使用できます。 (2)増設ケーブルの総延長距離は、13.2m 以内でご利用ください。 (3)増設ケーブルをご使用になる場合、主回路(高電圧、大電流)線とは束線、近接させないでください。 (4)増設段数の設定は、同じ番号に重複しないよう、昇順で設定してください。 (5)増設ケーブルはベースユニットの増設ケーブルコネクタの OUT から次段の増設ベースユニット IN に接続してください。 (6)ユニットを 65 ユニット以上装着した場合、エラーとなります。	

・マルチ CPU 構成の場合

マルチ CPU 構成時は、“QCPU ユーザーズマニュアル (マルチ CPU システム編)” を参照ください。

■電源容量による制限

本製品の消費電流は、本製品本体の消費電流と周辺機器の消費電流を合計した値となります。

本製品の消費電流値とご使用になる他のユニットの消費電流の合計が、使用する Q シリーズ電源ユニットの電源容量を超えないようにしてください。

Q シリーズ電源ユニットとして「Q61P」を使用した場合、この電源容量は 5VDC 6A となっていますので、本製品と Q シリーズユニットの構成によっては使用できない組み合わせがあります。

ご使用になるベースユニット、シーケンサ CPU ユニット、入出力ユニット、インテリジェント機能ユニット、周辺機器の消費電流を合計し、6A 以内かどうかでご判断ください。

消費電流の合計が 6A を超える場合、大容量の電源ユニット「Q64P」(電源容量 5VDC 8.5A)をご検討ください。

参考までに一部のユニットの消費電流値を記載します。なお、実際の消費電流値は、ご使用になる各ユニットのマニュアルをご参照ください。

分類	形名	5VDC 消費電流(A)
基本ベースユニット	Q38B	0.077
	Q312B	0.087
WinCPU ユニット	PPC-100-DC5xxx	3.0
CF カード	CF-1GB-B	0.09
シーケンサ CPU ユニット	Q02CPU	0.60
	Q25HCPU	0.64
モーション CPU ユニット	Q172CPUN	1.14
	Q173CPUN	1.25
入力ユニット	QX10	0.05
	QX40	0.05
出力ユニット	QY10	0.43
	QY40P	0.065
アナログ/デジタル変換ユニット	Q68ADV	0.64
デジタル/アナログ変換ユニット	Q64DA	0.345
位置決めユニット	QD75P4	0.58

- ・CF カードを使用したマルチ CPU 構成の場合

Q61P で各ユニットの消費電流の合計が 6A を超える場合、その構成ではご使用になれませんので、電源容量が 5VDC 8.5A の Q64PN をご検討ください。

CPU 台数			基本 ベース ユニット	消費電流 合計 (A)	残り電流量 (A)	
シーケンサ CPU	モーション CPU	本製品 PPC-100-DC5xxx CF-1GB-B (3.10A) *1			Q61P (6A)	判定
Q25HCPU (0.64A)	Q173CPUN (1.25A)		Q312B (0.087A)			
0	0	1	1	3.187	2.813	○
1	0	1	1	3.827	2.173	○
2	0	1	1	4.467	1.533	△
3	0	1	1	5.107	0.893	△
1	1	1	1	5.007	0.923	△
2	1	1	1	5.717	0.283	△
1	2	1	1	6.907	-0.907	× *2

残り電流量を判定基準としています。○：1A以上3A未満 システム拡張可能
△：0A以上1A未満 構成は可能だが、拡張性に乏しい
×：0A未満 構成不可

*1: USB周辺機器の消費電流は含まれません。

*2: Q64PNをお使いいただくことで、構成可能になります。

- ・多数の入出力ユニットやインテリジェント機能ユニットをご使用になる場合

この場合、本製品や周辺機器を含めた消費電流の合計が、基本ベースユニットだけではお使いの電源ユニットの電源容量を超える場合、入出力ユニットやインテリジェント機能ユニットを増設ベースユニットに装着してご使用ください。ベースユニットごとに電源容量を超えないようにする必要がありますので、増設ベースユニットを 1 段追加しても電源容量が不足する場合、複数段の増設ベースユニットで構築してください。